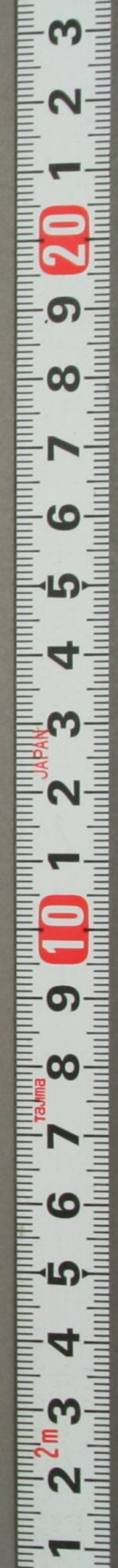


中村俊定文庫  
文庫 18  
770  
2







今日

ニシテ終ニシテハ

○りふに今ノ事ハ

下志の廻此間

ニシテ

○りふのこ

○りふに今ノ事ハ

○りふに今ノ事ハ

○りふに今ノ事ハ

○りふに今ノ事ハ

○りふに今ノ事ハ

○りふに今ノ事ハ

ナ

傾城

三五





○加衣沙衣 カイヤイ ○秋吉 アキキチ ○秋符 アキフ

○古寺の庭 フルサテノニワ ○古郷 フルサト ○古里 フルサト

○舟 フネ ○川舟 カハフネ ○舟山 フネヤマ

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○念 ネン ○念 ネン ○念 ネン

○

三十一



とぬぼの月... ○おろねの... 田舎... 思ふよあ

○おろねの... 又ふ... ○おろねの... 思ふよあ

吹く... ○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○

○

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ

○おろねの... 思ふよあ



心ココロ試シ けちニカ ○ 拾シク現ゲン モ ○ 心ココロの月ツキ

○ 心ココロの杉スギ 心は杉の心

○ 心ココロの松マツ 心は松の心

○ 心ココロの馬ウマ 心は馬の心

○ 心ココロの周シユウ 心は周の心

○ 子コにニ 子に

○ 子コとト 子と

○ 古コ等トウ 古等

○ 木キの糸イト 木の糸

○ 木キの葉エフ 木の葉

○ 声コエにニ 声に

○ 木キ末マタの秋アキ 木末の秋

○ 九ク童チュウ 九童

○ 衣イ 衣

○ 九ク文ブン 九文

○ 心ココロの月ツキ 心は月の心

○ 心ココロの松マツ 心は松の心

○ 心ココロの馬ウマ 心は馬の心

○ 心ココロの周シユウ 心は周の心

○ 子コにニ 子に

○ 子コとト 子と

○ 古コ等トウ 古等



























○**毎** スミ **竹** タケ **山** ヤマ **株** カネ

○**酒** サケ **花** ハナ **酒** サケ **花** ハナ **酒** サケ **花** ハナ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ

○**鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ **鹿** カ



○行人 （人） ○きりぬき （二） ○山序 （二）

○名 （二） ○木曾 （二）

○木 （二） ○柿中 （二）

○菊 （二） ○黄 （二）

○凡帳 （二） ○北 （二） ○金 （二） ○推 （二） ○金銀 （二）

○加 （二） ○經 （二）

○一 （二） ○二 （二） ○三 （二） ○四 （二） ○五 （二） ○六 （二） ○七 （二） ○八 （二） ○九 （二） ○十 （二）

○十一 （二） ○十二 （二） ○十三 （二） ○十四 （二） ○十五 （二）

○十六 （二） ○十七 （二） ○十八 （二） ○十九 （二） ○二十 （二）

○二十一 （二） ○二十二 （二） ○二十三 （二） ○二十四 （二） ○二十五 （二）

○二十六 （二） ○二十七 （二） ○二十八 （二） ○二十九 （二） ○三十 （二）

○三十一 （二） ○三十二 （二） ○三十三 （二） ○三十四 （二） ○三十五 （二）



















見

見

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい

見にうらみこけい  
見にうらみこけい



カシヤク ○おれの指キムネ ○忍シノブ櫛シノブ うしゆと能くさるる

○忍シノブ弓ユキ 女の内 ○忍シノブ車クルマ 車

○志シノブの心ココロ 志 ○志シノブれレ 志

○忍シノブ 忍 ○志シノブ 志

○紫ムラサキ 紫 ○推オシ紫ムラサキ 推

○志シノブ賀カ山ヤマ 志賀

○敷シキ 敷

○敷シキ 敷

のたえ鳥トリ 鳥

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志

○志シノブ 志



○精進 シヨウジン 神祇に似せり ○燭臺 シヨクダイ に似せり ○将軍 シヤウジュン 奈に

○尺八 シツパチ に笛長 ○志乃 シノ 竹の音 ○遊 ユウ 遊

○下の字 シタノジ 四七げとやと名入て四七傘と名入て下

○下級 シタカ 名は下級の意 傘下

○下帯 シタオビ 衣類

○上戸 シヤウコ 人仰の意

○田男 シタヲ 姑 好む意

○出家 シヤウカ 人仰

○珠數 シユスウ 珠の意 ○燧 シユイ 燧の意 ○高下 シヤウカ 高下の意

○東雲 シヤウウン 雲の意 ○白雲 シヤウウン 雲の意

○鹿 シカ 傘の意 ○鹿 シカ 傘の意

○佛 ブツ 佛の意 ○佛 ブツ 佛の意

○芍薬 シヤクヤク 薬の意 ○師匠 シシヤウ 師匠の意

○繪 エ 繪の意 ○繪 エ 繪の意

○法馬 シヤウバ 馬の意 ○海老 シヤウ 海老の意

○海老 シヤウ 海老の意

○







○日傘

日傘は昔も石燈籠の如く中へ入ると又燈籠の如く  
上へ上ると字もなりし事あり別物の物なれば是れ其の  
しく輝く小形を燈つてやるといふ事あり

○光月日露

吾目石杉非松争りし事あり  
傘は月星二花名に一更後  
小又月日露ももらるる事あり一公上とくひりし事あり  
○友

花

花は人言ふ傘と交り中へ入ると  
○一村 一村は傘の  
字ハハ傘と一村  
又一村と云ふ事あり一村は傘と云ふ事あり

久

久は傘の  
久は傘の  
久は傘の

○火

火は七句燈傘の火は上五句の火は  
火は七句燈傘の火は上五句の火は  
火は七句燈傘の火は上五句の火は

○檜原

檜原は傘の  
檜原は傘の  
檜原は傘の

○一条れ船

一条れ船は傘の  
一条れ船は傘の  
一条れ船は傘の

○水室

水室は傘の  
水室は傘の  
水室は傘の























○ 池見草 何事なくも 垣見くさ

○ 形見草 我思ひくらくて 花の咲くは

○ 自吉草 多叶 しのぎの中へ 花をば

○ 平見草 山を平水と かくる言 見草

○ 度百草 極 順の昔の 花をば

○ 秋待草 水 けしき 花のさ 思ひよ

○ 水け草 文田 水けしき 花のさ 思ひよ

○ 池見草 新しき 花や かくる言 見草

○ 平見草 山を平水と かくる言 見草

○ 度百草 極 順の昔の 花をば

○ 秋待草 水 けしき 花のさ 思ひよ

○ 水け草 文田 水けしき 花のさ 思ひよ

○ 池見草 新しき 花や かくる言 見草

○ 平見草 山を平水と かくる言 見草

○ 度百草 極 順の昔の 花をば

○ 秋待草 水 けしき 花のさ 思ひよ

○ 水け草 文田 水けしき 花のさ 思ひよ

○ 池見草 新しき 花や かくる言 見草

○ 平見草 山を平水と かくる言 見草

○ 度百草 極 順の昔の 花をば

○ 秋待草 水 けしき 花のさ 思ひよ

○ 水け草 文田 水けしき 花のさ 思ひよ

池見草

池見草

池見草



○ 寂子立き くらきききし川の夕暮  
 ○ 不可見草 名中 花のほろり月出  
 ○ 名取子 人の心の中 花のほろり月出  
 ○ 且見草 名中 花のほろり月出  
 ○ 夜白草 名中 花のほろり月出  
 ○ 心 名中 花のほろり月出  
 ○ 原着草 名中 花のほろり月出  
 ○ 手割草 名中 花のほろり月出

○ 風鈴草 名中 花のほろり月出  
 ○ 風鈴草 名中 花のほろり月出  
 ○ 神見草 名中 花のほろり月出  
 ○ 庭見草 名中 花のほろり月出  
 ○ 法隆草 名中 花のほろり月出  
 ○ 紅葉草 名中 花のほろり月出  
 ○ 赤松草 名中 花のほろり月出  
 ○ 次浪草 名中 花のほろり月出



○ 松竹梅の三友は玉葉の香をうけ

○ 庭芸草の吹風は玉葉の香をうけ

○ 鏡の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 夕陽の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 思の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 形見の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 百の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 夕の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 河玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 夕玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 暮見の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 秋の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 神無の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 月夜の玉葉の香は玉葉の香をうけ

○ 親子の玉葉の香は玉葉の香をうけ

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香

玉葉の香







おろはしは下より下戸  
腕より手に上るをきくは  
うきうき 蜻蛉のやうに 観音の  
ほきふし ちかきうて 千手  
千手多き蜻蛉入道一たを  
とて ちかきうて ちかきうて  
此より是をちかきうて 観音の  
法慈恵のうて 観音の志の

のうか ちかきうて 面  
ちかきうて ちかきうて 身  
鼻のうて ちかきうて 目  
見たり ちかきうて 事  
ちかきうて ちかきうて 目  
面とちかきうて 目  
ちかきうて



文化十一甲戌春再板

· 卷五

十

卷五  
十



